京都企業のビジネスモデル

企業経営者に聞く
成長への原動力

電子デバイスから分析・計測機器、電力機器、物流・搬送機器、工作機械、金型・鍛造品、食品、下着などと、京都の企業は上場企業だけをみても裾野が広い。一方、独自技術によりニッチ市場で高いシェアを握る機械関連の中小企業が多いのも特色だ。ブランド力や付加価値のある技術・製品で、景気が変動しても手堅く収益を確保する企業が数多くある。金融機関も全国トップクラスの規模を誇る地方銀行と信用金庫が、資金面から企業をしっかりとサポートする。京都に根を張るメリットも含め、強さの理由や今後の事業強化策をトップたちに聞いた。

島津製作所

中本 晃 社長

技術と経験を強みに

―開発で重視する点は。

「世の中で必要とされているものを、自分たちの持っている技術で提供することが製品につながる。独創性を出して競合に打ち勝つには技術を強みにし、『経験』を裏付けで持っていればベースになる。経験は同じ分野でも、どれだけ高みを目指してきたかで差が出るが、当社には新しいものに早くから取り組む風土がある。急激な円高などは想定できなかったから多くの業界が大きなダメージを受けているが、特徴のある製品をつくる場合においても『想定する力』を高めておくことが重要だ」

―分析計測機器の需要が好調です。

「国内は民間の化学・製薬分野で需要が伸びている。化学分野では日本が強い、新しい材料の開発に取り組むなど良い傾向だ。自動車関連業界などでは上期（2011年4―9月）に落ち込んだ生産量を下期（同10―2012年3月）に取り戻そうと設備投資している。またクロマトグラフなどでは世界中で需要があるハイエンド機の発売でラインアップを拡充できた」

―産学官連携の取り組みは。

「化学・製薬の大手企業や大学と、がんの早期発見・診断など少し先の分野で連携している。大学は民間では集めにくい情報やデータも持っているし、専門家がいる。世の中で本当に必要とされるものを、それぞれの得意分野を持ちよって市場に合わせて生み出す」

ローム

澤村 諭 社長

次の50年 成長を期す

―強みとしている技術は何ですか。

「当社が強みとするカスタムLSIは、顧客と一緒になって開発を進めている。エンジニアは電子機器のシステム全体を把握しながらLSIの仕様を決めており、自然と質の高い技術サポートや指導ができるようになる。こうしたことの積み重ねが技術の強みにつながっている」

―製品開発の方針は。

「設立50周年の次の50年に向けて『パワーデバイス』『発光ダイオード（LED）』『センサー』、グループ会社との『シナジー』の四つを新たな成長エンジンに位置づけている。SiC（炭化ケイ素）デバイスは10年以上にわたる研究を経て事業化した。LED関連では幅広いアプリケーションに必要なデバイスを数多くそろえており、総合力で提案できる会社は当社以外にない」

―産学官連携などで重視していることは。

「研究開発についてはグローバル化を加速させている。海外の大学や企業、研究機関と連携して研究開発に取り組むことに加え、研究開発エンジニアとして海外人材を積極的に採用している。また2011年4月には中国・清華大学に『清華―ローム電子工程館』が完成し、同大学の電子教育と研究の中核拠点として活用されている。世界中の企業、研究機関との共同研究や情報交換の場となっていくことを期待している」

イシダ

石田 隆英 社長

海外拡大視野に躍進

―顧客仕様に応じた生産・販売体制が充実しています。

「大量生産よりは受注生産に強みがあり、品質のよいモノを安く作ることにこだわっている。営業担当と同等の人数をサービス担当に割き、サービスセンターの中にコールセンターも設置して24時間365日の対応を心がけている」

―製品ラインアップも幅広いですね。

「生産を停止した製品はほとんどない。ただ代替部品の在庫を多く持つことになる。コアな特殊部品はあるが、影響のない範囲で標準化を図る。統合業務パッケージ（ERP）の導入も進めており、いろいろな課題が見えてきた。例えばグループで部品番号の呼称が異なっており、統一する」

―海外を中心に売り上げが好調です。

「2010年にベトナム、11年にインドネシアと駐在員事務所を開設した。インドネシアは前年比30％増で、ベトナムも調子がよい。国内は、顧客のスーパーマーケットの震災特需で上期の売り上げは前年比8％増だった。下期も好調に推移すると見込んでいる。日本では現在フル生産の状態。余剰分は海外の生産拡大を視野に入れている」

―11年度から、初めて6カ年の中期経営計画がスタートしました。

「売り上げを11年3月期の700億円から、6年後に1000億円を目指す。海外売上比率は現在40％で5割まで引き上げる計画だ」

宝ホールディングス

大宮 久 社長

好みの多様化に対応

―酒類事業を中心に展開してきた自社の強みをどのように認識していますか。

「技術系、文化系に関係なく自由に発言し、それを受け入れる風土ができてきたことだ。厳しい時代に勝ち残るためには他社にない商品で異質競争をしていかないといけない。一人の人間が市場の情報と技術情報ををマッチングさせる知識がなければ、技術開発の初期段階から他社に遅れる」

―国内需要が低迷する中で発泡性清酒「澪」や「タカラ焼酎ハイボール」など好調な製品がそろっています。

「作れば売れたころとは違い、今はモノがたくさんあり、好みも多様化している。大ホームランではなく小さなヒットを積み重ねていく。製品を増やすことで変化に強くなり安定感が増す。当社も変化に耐えうるラインアップになってきた」

―他社にない製品をどう生み出していきますか。

「清酒の消費量はピークの3分の1になっている。清酒の定義を狭めるのではなく『澪』のようにむしろ広げることで好みの多様化に対応する」

―海外や酒類以外の事業の現状は。

「海外は欧米を中心に日本食が売れており、出資したフランスのフーデックスも好調だ。（分社化した）バイオ分野も、変化のスピードは酒類事業と異なるが、技術で優先してクリーンヒットを打つという同じ理念で進んでいる」

ニチコン

荒木 幸彦 社長

環境事業で技術発揮

―環境関連ビジネスが拡大しています。

「二酸化炭素（CO_2）排出量削減と、東日本大震災以降の代替エネルギーや分散電力の必要性が相まって歴史的転換点を迎えている。三菱自動車の世界初の量産電気自動車（EV）に搭載されている車載用充電器一体型DC／DC（直流／直流）コンバーターは当社が世界で初めてつくった。急速充電設備などインフラ整備の分野にも力を入れる。人類のニーズである環境関連の市場は確実に伸びるし、我々は循環型社会を後世に残さないといけない」

―中核事業のコンデンサーで技術力を発揮しています。

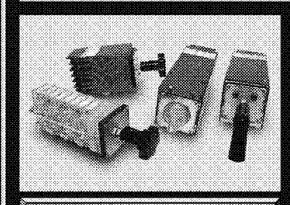
「アルミ箔などの材料から手がける垂直統合モデルで、顧客が3―5年後に求めるような製品にも応えられる。DC／DCコンバーターや車載用充電器などの環境関連事業もコンデンサー技術をベースに数十年間こつこつ積み重ねてきたものが生かされており、誇りであり自信を持っている」

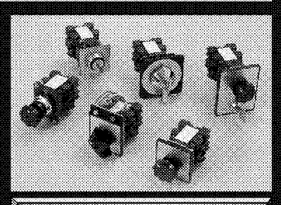
―産学官連携も積極的ですね。

「環境関連では京都市が主幹する『スマートシティ京都研究会』で企業と大学とビジネスモデルの構築を目指している。また京都府の『京都府次世代自動車パートナーシップ倶楽部』でも当社はメンバー企業。知事も市長も非常に熱心で、継続して産学官のコミュニケーションを深め、京都を環境先進地域にしていこうとしている」

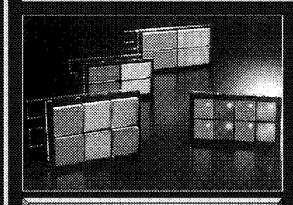
～社会インフラを支える4つの製品カテゴリー～

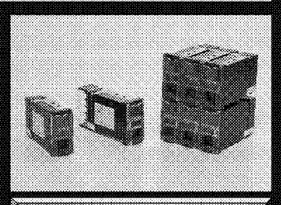
制御用開閉器
～Control Switches～
人と設備の重要なインターフェイスとなる制御用開閉器（コントロールスイッチ）。大型プラントなどでは、わずかな接触不良も大事故の原因になりかねないだけに、絶対の信頼性が要求されます。不二電機工業では、独自の機構開発や先進技術の導入により、高い接触安定性と耐久性の確保はもちろん、小型コンパクト化、低コスト化、使う人の操作性を徹底追求。作業能率の向上に役立つ優れたコントロールスイッチを生み出しています。


ダブルブリッジ高信頼性カムスイッチ（BH-□WS形）

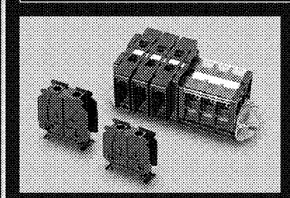

制御用カムスイッチ（H形）

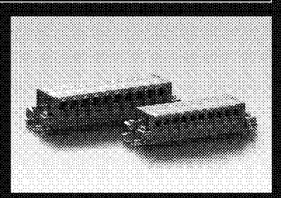
表示灯・表示器
～Indicators and Indicator Lamps～
制御盤のランプ類（表示灯・表示器）は設備の運転監視のためになくてはならない存在であり、集中制御の進む今日では、低消費電力、高表示効率、長寿命のランプに対するニーズが高まっています。不二電機工業では、制御システムの信頼性とコストパフォーマンスを向上させる長寿命のLED表示灯を開発し、高電圧対応や小型機種のシリーズ化などで他の追随を許さない技術とノウハウを発揮しています。


集合表示灯（XL形）

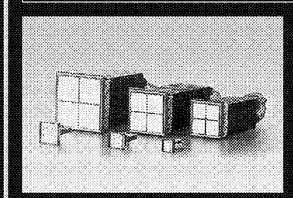

落下式故障表示器（ZK形）

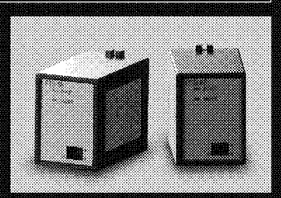
接続機器
～Connecting Devices～
より速く、正確に、そして使いやすく――制御システムの高密度化・インテリジェント化に伴い、制御機器間の情報を中継する接続機器へのニーズはますます多様化・高度化としています。こうした時代の要請に応え、不二電機工業では接続時の接触信頼性と取り付けの簡便性を追求し、あらゆる条件下で安定した性能を発揮するコネクタ、ターミナル、テストターミナル等を開発。幅広い用途に多彩なバリエーションで対応しています。


高耐圧端子台（TXH形）


配線脱落防止機能付き端子台（TQ形）

電子応用機器
～Applied Electronic Devices～
不二電機工業のパーツテクノロジーを結集し、高機能・高付加価値を追求した電子応用機器類。従来の製品カテゴリーを超えて技術の複合化をはかり、デジタルパネル、LED表示盤、アナンシェータをはじめ、多彩なエレクトロニクス関連製品を開発しています。中でもアナンシェータ（システムの異常発生時にアラーム装置へ信号を送り、異常箇所を表示灯に表示する機器）は、その品質・性質に高い評価をいただいています。


アナンシェータリレー（XK形）


ボルテージリレー（PTS形）

不二電機工業株式会社
URL 不二電機 検索
『Web EDI』インターネット販売
不二電機 Web-EDI 検索
ISO9001取得 ISO14001取得
E-mail:news-nk@fujidk.co.jp
お問合せはこちら TEL(077)562-1215 FAX(077)562-1213
技術営業部／〒525-8521 滋賀県草津市野村3-4-1 ☎(077)562-1215 FAX(077)562-1213
東京営業部／〒105-0011 東京都港区芝公園1-1-12 芝公園電気ビル ☎(03)5401-3379 FAX(03)5401-3047

Wacoal

しあわせは、ていねいにつくられる。

朝にいれた紅茶がおいしくってわくわくしたり、
窓から射し込む光がきれいでどきどきしたり。
女性たちは小さな自分だけのしあわせを見つけるのが得意です。
一人ひとり心やからだが違うように、しあわせのカタチも違うはず。
ていねいに、ていねいに、その目と手と心で確かめながら、
自分らしいしあわせをつくりあげていく女性は素敵です。

ワコールは、そんな女性たちに、
そっと向き合っていきたいと思っています。
たとえば製品のレースは、熟練の技を持つ職人が
一つひとつ手で縫い付けています。
スピードと効率が求められるこの現代に、
ていねいに、ていねいに、一針ずつ。
そういう方法でしかつくることができない繊細さを、
大切にしたいのです。

これまでも、これからも。
ワコールは、女性たちの感性に寄り添って、
女性たちのしあわせを支えていきたい。
一針の縫い目からも、
わたしたちのそんな思いが伝わりますように。

www.wacoal.jp/fitformylife

■ワコールホームページアドレス http://www.wacoal.jp　サイズは買いかえるたびに（社）日本ボディファッション協会　ピンクリボン活動（乳がん早期発見）を株式会社ワコールは支援しています。　株式会社ワコール